

# 活動実施報告書 (令和4年度)

名称：学校法人吉井学園 幼保連携型認定こども園 錦ヶ丘

所在地： 吉野町 2223 番地 4

電話番号：099-244-0006 電子メールアドレス：admin@yoshii.ed.jp

代表者：理事長 堂園文子 担当： 迫田昌子

4月

取組内容	活動内容(写真等)
<ul style="list-style-type: none"><li>野菜を植える</li><li>野菜の皮むきをし、給食でいただく。</li></ul>	<p>グリンピースの皮むき 給食で食べました</p>  
取組結果・感想等	<p>土作り 春野菜を植える</p>  
<ul style="list-style-type: none"><li>野菜を植えるだけでなく、土作りから取り組み、野菜の生長を楽しみにしながら、野菜を育てることができた。</li><li>自分達で調理した具材を食べる喜びを知ることができた。また自分達が皮むきなど、調理に携わることで、給食が進み、残飯量が減った。</li></ul>	

5月

取組内容	活動内容(写真等)
<ul style="list-style-type: none"><li>よもぎ団子作り</li><li>緑のカーテン作成(ゴーヤ・きゅうり)</li></ul>	<p>グリーンカーテン作り</p> 
取組結果・感想等	<p>よもぎ摘み よもぎ団子作り</p>  
<ul style="list-style-type: none"><li>園庭に自生している野草(よもぎ)を収穫し、お菓子を作ると、普段野菜が苦手な子ども達も喜んで食べていた。</li><li>植え方を教えてもらいながら、なぜ植物でカーテンを作るのか、考えながら取り組んだ。どこまで大きくなるのか期待しながら生長を見守って1</li></ul>	



取組内容

- ・梅仕事(全学年)
- ・田植え(年長)
- ・芋の苗植えを経験(2歳児)

取組結果・感想等

- ・五感で自然を感じながら、季節ならではの取り組みを、全学年で取り組んだ。興味のある子ども達は、梅のへた取りや芋の苗植えを取り組み、シロップや植物のできる過程に期待していた。
- ・米作りに興味を持ち、田植えを行った。生長の過程や、食物や人間の命の尊さや大切さを知る良い機会となった。

活動内容(写真等)

梅しごと  
(梅シロップ作り)



芋の苗植え



田植え



取組内容

- ・野菜や花の水かけ(地下水を利用)
- ・野菜の収穫(きゅうり、ミニトマト、ピーマン)
- ・収穫した野菜を調理して食べる
- ・給食食材の下処理手伝い

取組結果・感想等

- ・年中、年長組は、土づくりから野菜を育てたため、水やりをしながら生長を楽しみにしていた。作物を育てる大変さや自分達で育てたものを調理して食べるおいしさを感じていた。
- ・とうもろこしの下処理では、とうもろこしの皮やひげの下からあらわれた実に驚きながら、きれいな実になるよう、丁寧に取り組んでいた。
- ・また、収穫の時期になると、他学年の子どもたちも収穫し、取れたての新鮮な野菜のおいしさを味わっていた。

活動内容(写真等)

トマトの収穫



トマトの調理



給食食材の下処理



8月

取組内容

- ・水遊び
- ・氷遊び
- ・石鹸遊び
- ・夏野菜を収穫し、調理して食べる。

取組結果・感想等

- ・地下水から汲み上げた水を貯め、水遊びや水やりを利用して
- ・暑い夏は、木陰を見つけたり、水遊びなどをすることで涼をとっている。
- ・自生した紫蘇は、給食食材として使用したり、子どもたちが自分達で調理したりして食べた。

活動内容(写真等)

水遊び



石鹸遊び



自生した紫蘇の収穫



水遊び



9月

取組内容

- ・梅干しで塩分補給  
(6月に漬けた梅を活用)

取組結果・感想等

- ・活動した後に、自分たちで漬けた梅干しを食べ、塩分補給を行った。普段は塩辛いものを口にしない子ども達も、自分たちで漬けた梅干しは格別だったようで、よく食べる姿が見られた。

活動内容(写真等)

梅干ししょっぱい！！



10月

取組内容

・稲刈り

取組結果・感想等

・鎌を使って稲刈りに挑戦し、自分たちで収穫する楽しさだけでなく、昔ながらの鎌で刈る難しさも経験できた。  
・台風で倒れた稲も見ることができ、改めて収穫できる喜びやありがたさを感じる事ができた。

活動内容(写真等)

鎌を使用して稲刈り体験



11月

取組内容

・芋の収穫  
・クッキング(芋ご飯)  
・秋の味覚会(秋の旬の野菜など)

取組結果・感想等

・畑の前を通る度、苗の生長に関心を抱き、「おおきくなってる!」「はながさいてる」などと保育者に伝えながら、生長過程を楽しんだ。  
・収穫する事で、更に興味が深まり、給食に入っている野菜にも興味が出てきた。  
・苗植えや収穫、クッキングを通して、身近にある自然に愛着を感じていたようだ。  
・秋の味覚会では、秋の野菜や魚など、子ども達と秋ならではの食材は何かと話し合いながら準備し、食する事で、季節を感じていた。

活動内容(写真等)

芋ほり



クッキング



釜で炊いたご飯



お芋ご飯!



秋の食材を使用した秋の味覚会





12月

取組内容

- ・餅つき会
- ・冬野菜の収穫

取組結果・感想等

- ・餅つき会では杵と臼を使い、昔ながらの方法で餅つきを行った。餅をつく前のもち米を食べたり、子どもたち自身がトッピングを選んだり主体的に餅つきに取り組むことができた。
- ・冬野菜の収穫では、カブやブロッコリーを収穫し、クッキングを行った。

活動内容(写真等)

杵と臼でもちつき



つきたてのお餅をいただく



かぶとかぶの葉のスープ



1月

取組内容

- ・鬼火焚き
- ・鏡開き
- ・七草

取組結果・感想等

- ・鬼火焚き、鏡開きでは、事前に意味や由来を紙芝居などを通して理解した上で、正月飾りや枯草を園庭で燃やした。子どもたち自身もしめ縄などを櫓に置くことができた。郷土の行事を知るとともに、枯草の利用などを通してSDGsへの関心も高まった。

活動内容(写真等)

年長児の櫓組み



鬼火焚き見学



取組内容

- ・節分
- ・廃材利用
- ・恵方巻きを食べる

取組結果・感想等

・節分の由来を紙芝居や絵本で理解し、各学年ごとに、節分行事を行った。また新聞などの廃材で豆を作り、物の再利用を保育の中で取り入れることで、資源を無駄にしないという気持ちを育むことができたのではないかと感じる。

活動内容(写真等)

各学年で廃材を利用し節分に向けた活動



自分で巻いた恵方巻



## 1年間取り組んだ感想・ご意見

- ・本園には、自然が豊富にあり、一步園庭へ出れば、自然に触れることができる。日常の園生活の中で、四季の植物を採って食べたり、虫を捕まえて観察したりすることもできる。そのため、自然を身近に感じることができるような環境と、保育内容について考え、工夫して取り組んだ。
- ・食育にも力を入れており、子どもたちが主体となって、野菜を育て、収穫した野菜を調理して食べる事で、自然の恵みのありがたさを実体験で学ぶことができた。
- ・また、水の大切さやごみについての話し合いを、年齢に応じた内容で実施したことで、子ども達自身が節水や物の大切さについて考え、生活の中でできることを考えるきっかけ作りになった。
- ・上記のような活動は、各クラスや係だけで行うのではなく、全職員で共有しながら、保育者・給食室・営繕担当等、様々な職員が連携を図り、子ども達と取り組んだ。